

## 1月校長講話要旨

### ○挨拶の前に

今年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」により犠牲となられた方々に心よりお悔み申し上げるとともに、被災された皆様ならびにそのご家族、関係者の皆様に対してお見舞い申し上げます。

被災された皆様の安全と被災地域の日も早い復興をお祈り申し上げます。

### ○新年が始まりました

2025年、令和6年、辰年が始まりました。年明け早々の地震、津波等に伴って多くの死者、安否不明者を出し、避難生活が始まった人たちもいます。さらに関連する事故として羽田空港での航空機衝突事故もありました。

昨年でパンデミック、世界的なコロナ禍もようやく収束を迎え、日常の生活が戻ってくるようです。皆さんにとっては、今年はきっと去年よりも良い年になると信じて、一年を過ごしたいものです。

校長室のカレンダーには、昭和、平成からの通算年数が表示されているものがあります。今年が昭和99年、平成36年になります。中村草田男の俳句に「降る雪や明治は遠くなりけり」がありますが、明治・大正だけでなく、昭和も遠くなりました。

今年には4年に1度の閏年です。閏年には必ず行われる国際的な大きなイベントが2つあります。1つはオリンピック夏季大会と、2つ目は12月のアメリカ大統領選挙です。オリンピックとアメリカ大統領選挙についてはまたの機会に触れようと思います。

### ○新年に思うこと

年頭・年明けに当たって、これからの心構えについて考えてみたいと思います。

夏目漱石の「日記」には、こんな言葉があります。

「まじめに考えよ。誠実に語れ。摯実（しじつ）に行え。

汝の現今に播く種は、やがて汝の収むべき未来となって現わるべし。」

まじめに考えて、誠実に語ること、そして真剣にそのことを実践すること。汝・あなたが今、まいた種・種子は、将来自分が収穫する、手に入れる未来である。と言っています。将来の自分のために現在、今真面目に考え、誠実に、そして地道に行動することが必要です。

もう一つ、戦前の旧制高校生（現在でいえば大学生の1、2年生に相当）たちの愛読書の一つに阿部次郎の「三太郎の日記」というのがあります。

その中の一節に「汝を高むるものは、ただ汝自身の中にあり」という言葉があります。自分自身を高める、向上させるためには、自分で努力することが大切だということです。

皆さんには年明けに当たって、それぞれこれからの目標を立てたことと思います。その目標に向けて、自分自身で努力することが必要です。自分自身を高めるのは自分自身であるということ。

努力は結果を裏切らない。地道な努力が実を結びます。高校2年生は、これからの1年が正念場です。自分自身の目標、進路希望に向かって努力してください。

### ○初詣とは

このお正月には、皆さんも初詣に行かれた人も多いかと思いますが、初詣についてお話しします。

2012年に出版された本で、「鉄道が変えた社寺参詣」という本があります。この本で、私自身も初めて知ったことですが、初詣という習慣は、近代日本になって、鉄道が敷かれ、交通が便利にな

ってからのことで、江戸時代には初詣の習慣はなかったそうです。明治20年（1890年）代から始まり、明治の後半に広まった習慣だそうです。

俳句には季節を表す季語がありますが、俳句の歳時記に「初詣」という言葉・季語が登場するのは、明治41（1908）年からのことで、まだ百年程度の伝統しかないようです。この本のサブタイトルは「初詣は鉄道とともに生まれ育った」です。

都会の私鉄近郊電車は、寺社参詣を目的として作られた鉄道会社もかなりあります。東京から川崎大師への参拝を目的として作られたのが関東最初の電車、電気鉄道である大師電鉄、現在の京浜急行電鉄です。また、現在は浅草寺のある、都営地下鉄浅草線を通して京浜急行線と相互乗り入れしている京成電鉄は、千葉県の成田山新勝寺の参詣のために作られました。東京と成田を結ぶので、東京の京と成田の成を合わせて京成電鉄といいます。JR成田線は、我孫子と成田そして佐倉、銚子と成田を結んでいますが、これも成田山新勝寺の参詣を目的の一つとして作られたもので、昭和の初めに京成電鉄が成田まで開通してからは、成田までの参拝客の奪い合い、特に初詣には多くの臨時列車が走りました。

京成電鉄の子会社の一つが、我々が日常多く利用している関東鉄道です。「関鉄」は鹿島参宮鉄道が発祥で、常磐線の石岡から銚田までを結び、銚田の手前の浜駅で霞ヶ浦の汽船を利用して、鹿島神宮に参るものでした。鹿島参宮鉄道は常総筑波鉄道と合併して関東鉄道になりましたが、筑波鉄道は、土浦から筑波山・筑波神社に向かう参詣客を運ぶ目的で敷設されたもので、真壁を經由して、水戸線の岩瀬まで結んでいました。関東鉄道となった、銚田線のちの鹿島鉄道線も筑波線も、どちらも神社参詣の乗客を目的とした鉄道でした。両線ともにすでに廃線になってしまいましたが、始まりの目的は神社への参詣のためだったのです。

## ○最後に

昨年末12月24日に、駅伝部が、第74回全国高校駅伝大会に茨城県代表として出場したので、応援に行ってきました。

出場した選手はそれぞれ自分のベストを尽くしたパフォーマンスをしてくれました。応援体制の準備等が遅くになったこともあって、陸上競技部・駅伝部を中心に、スポーツコースの人たちと、生徒会、そして応援委員の生徒と先生方で応援に行きました。NHKの全国放送もあり、テレビやラジオで応援してくれた人も多かったと思います。

本校は2千人近い生徒がいますので、一つにまとめることが難しく、どうしてもバラバラになってしまい、学校としての一体感がなかなかうまくいかなかったと思います。この応援の時に感じたのは、こういった大会やイベントなどにみんなで参加することで、自分たちの学校や仲間、愛着や誇りを持つてゐるのではないかとことです。

新しい年が始まります。本校として新しい取り組み、学校が一つにまとまり、学校への愛着や誇りを一層高めることをしていきたいと考えています。その一つとして考えたのが、6月のスポーツフェスティバルを発展させて、中学校・高校合わせた大運動会をやりようと思います。

場所は、東京千駄ヶ谷の東京体育館です。隣が国立競技場です。日程は6月10日（月）です。会場には観覧席も十分にありますので、保護者の方にも見ていただきます。

これから先生方の実行委員会をつくり、生徒会を中心として実行委員会をつくって協同して中高合同の「大運動会」・体育祭を実施して、新しい伝統を作っていきます。